

新観光スタイル「体験型観光」と

薫り高い「文化観光」の融合



今、新しい観光スタイルとして「体験型観光」が注目されています。従来の観光を「見る観光」とすると、体験型観光はいわば「五感で感じる観光」。

その地域でしか体験できない要素を取り入れた観光のことを指します。

中心市街地周辺には、長浜ならではの歴史や文化を感じることができ、場所や素材が点在しています。

戦国時代の城址や古戦場跡等が残る「戦国の聖地」のイメージが強い長浜ですが、旧長浜駅舎や黒壁ガラス館といった「明治近代化遺産」も数多く残ります。

体験型観光は、必ずしも新しい観光資源を必要とせず、既存の観光施設や豊かな歴史文化といった資源を活か

しながら、地域に根差した体験を提供するコンテンツを創ることで、魅力を高めることができます。

また、スマートフォンやSNSの普及した近年は個人旅行が増えており、特にコロナ禍でその傾向が顕著となっています。そうした個人旅行者に様々な長浜を体験してもらうことにより、一人ひとりに魅力発信の中継点を担ってもらうことができます。

長浜が得意とする「文化観光」を入口として来訪人口を増やし、観光客が地域の人やコトに触れる「体験型観光」を通じて交流人口を創出するという流れを中心市街地で起こすことで、新しい活力をもたらす可能性が生まれます。

まちなか体験型観光の拠点として期待

昨年12月から長寿命化と修繕のために工事が行われていた「黒壁ガラス館」が、3月27日（土）にリニューアルオープンしました。屋根の葺き替えや耐震補強のほか、外壁を塗り直して当時の壁の色が再現されて外観も一新。まちなか観光のランドマークとしてだけでなく、黒壁スクエア一帯として体験型観光の拠点としての役割が期待されます。



▲外観を一新した黒壁ガラス館



株式会社 黒壁 広報室長
佐藤 泉 さん

「体験型観光」という言葉にはいろんな意味があり、ガラス体験などものづくりをしていただくことはもちろん、長浜の食を楽しんでもらうこと、空気を味わってもらうこと、お土産を見ていただくことなど、中心市街地で行えること全てが長浜体験につながると思っています。

数年前と全く様子が変わったのは、体験した人によってSNSで発信してもらえること。それによって今まで来ていただけていなかった世代の人にもお越しいただけるきっかけになりました。

「コト消費」や「体験型」ということは、すでに広くいわれていることです。が、どう長浜らしさを出していくかがポイントだと思います。ガラス文化事業において培ってきた経験を活かしながら、歴史や文化、自然が豊かな長浜からできる体験型観光を意識して、「また長浜に来よう」と思ってもらえる仕掛けづくりをしていきたいです。

新たな魅力の創造

中心市街地のミライ

未来志向の指針を策定

市では今年度、令和4～8年度の計画として新たに「**中心市街地活性化ミライビジョン**」を策定していくこととしています。

これは、新型コロナウイルスにより社会が大きく変化する中で、全く新しい常識（ニューノーマル）に適応するとともに、関係人口の拡大、情報伝達の活性化、地方への関心拡大といったこれまでになかった可能性も踏まえた、中心市街地のまちづくりの指針です。

長浜のまちづくりのDNAをどのようにに継承・発展させていくか、チャレンジ＆クリエイションを繰り返しながら前進し、未来志向のまちを創るためのビジョンを策定します。

ビジョンの方針(案)

人材間のネットワークづくりや、継続的な取組みを促す仕組みづくりなど、ソフト施策を先行し、チャレンジ＆クリエイションのサイクルを活性化させながら各取組みを強化していくことで、自立・自走していくまちを実現します。

テーマ①「環境」

歴史的な町並みと豊かな自然環境が隣接する長浜ならではの魅力を活かしたサービスを展開します。また、雄大なびわ湖やまちなかを流れる米川など、長浜を印象づける水辺のまちづくりと併せ、町並みの価値や魅力を引き立てる空き店舗の活用を進展させます。

テーマ②「仕事」

社会の変化を踏まえた新しい働き方ができる環境の創造と、従来の概念にとらわれないサービス提供や、それらを通じた活発な人的交流を進めます。

テーマ③「健康」

健康な暮らしの根幹となる身近な農業・漁業と食を大切にしたまちづくりを具現化します。オープンスペースや空き地を利用したまちなか農園や、栽培や収穫を楽しむコミュニティなど、地元の恵みを活かしたサービスを提供する場を創出します。

テーマ④「サービス」

モノ消費からコト消費へのシフトに対応し、「魅力的な時間を過ごせるまち」を中心に据えたサービスを充実。長浜での体験価値を向上させます。

空き店舗を活用した

挑戦を支援！

まちに活力が生まれるのは、中心市街地に活気があつてこそ。「まちの顔」である商店街の活力の維持・向上と、新たな創業の機会を創り出すための支援第一弾として、長浜商工会議所と長浜まちづくり株式会社と連携し、「**商店街空き店舗活用スタートアップ支援事業**」を始めました。

空き店舗を活用した出店に挑戦する事業者への支援を行います。

【対象者】

長浜市を活動の基盤とし、店舗を継続して経営する意欲のある人

※個人、法人、新規創業、第2創業など経営形態は問いません。

【対象事業】

内装、設備等店舗の改修に要する工事費（外装の改修工事を除く）

補助率 2分の1

補助限度額 100万円

【その他】

長浜商工会議所から経営相談などの総合的サポートが受けられます。

※応募方法、出店場所など、詳しくは市ホームページまたは担当課までお問い合わせください。

問 商工振興課（☎65・8766）